

各務原市方針と重点

誇り・やさしさ・活力ある児童生徒

- (1) たくましく生きる力の育成
- (2) 安心して学べる教育環境
- (3) 学校・家庭・地域の連携による
地域ぐるみでの教育の充実

学校課題

- ・児童相互の気持ちを尊重する人間関係づくり (望ましい集団づくり)
- ・児童自ら問題 (課題) について考え、仲間とともに解決する力 (生きる力)
- ・耐性、体力、運動能力の向上

学校職員として

- ・常に笑顔で誠実、そして謙虚
- ・美しい言語感覚 (美しい日本語)
- ・確かな人権感覚
- ・共感的な生徒指導力
- ・確実な授業力と豊かな学級経営力

学校の教育目標

深く考え 思いやりがあり からだをきたえる たくましい子

経営の重点(子どもと職員の合言葉)

笑顔 (美しい心) でつながる蘇一小ピース



1学期 つくる むかう かんしゃ 2学期 むかう もえる かんしゃ 3学期 つぎに つなぐ かんしゃ

合言葉に向かう学級目標 学級目標に向かう学級経営 学級目標に向かう宝物づくり

笑顔①<笑顔でつながる職員集団>

- 互いを尊重し、組織で動く職員集団 (チーム蘇一) ○共感的な生徒指導に徹する職員 (児童の気持ちに寄り添う)
- 児童の人権を尊重し、美しい言葉で指導する職員 (褒める 認める 指導とは褒める機会をつくること)
- 危機管理能力の高い職員 (最悪の場合を想定し 慎重に 素早く 誠意をもって 組織で対応)

笑顔② (知)

<つないで考える子供>

- 確実な教材研究
- 確実な児童理解
- 「わかる」「できる」笑顔あふれる授業実践
 - ・課題解決の見通し
 - ・考えを表現、交流
 - ・考えの互いに交流する
 - ・3つの見届け
- ユニバーサルデザイン

笑顔③ (情・意)

<仲間とつながる子供>

- 「蘇一小ピース」を具体化する
- 学級目標に向かう姿の価値付け → 宝物の蓄積と揭示
- 学年の発達段階に応じた意図的な活動 集団づくり QU
- 児童の気持ちに寄り添う教育相談の継続
- 道徳、特活の充実
- なかよし遊び

笑顔④ (意・体)

<元気につながる子供>

- 笑顔でつながるあいさつ (児童会・PTA・蘇一中校区)
- 無言掃除・ボランティア
- 蘇一小ルール
- 20分休みの学級遊び
- 元気アップ大作戦
- 児童と一緒に楽しく元気に遊ぶ職員
- 大縄跳び大会

研究主題

主体的に学び、確かな学力を身に付ける児童の育成

組織

企画委員会 運営委員会 職員会議 生活指導部 健康安全指導部 特別活動指導部
研究推進委員会 資質向上委員会 いじめ不登校等のケース会議 現職研修 情報交流会

笑顔⑤<家庭や地域とつながる学校>

- ・学校だより、学年通信、学校ホームページ等による情報の発信
- ・地域の教育力の活用 (福祉学習・地域の歴史学習・戦争体験・馬頭琴等)
- ・「蘇原中校区3校生徒指導交流会 (年3回)」, 幼稚園, 保育所等との情報交流と連携の強化
- ・PTA (本校PTA, 蘇原中校区3校PTA連絡協議会), 青少年育成市民会議, 子ども会との連携
- ・「学校評議員」の学校評価, 保護者の「学校評価アンケート」の結果公表を通して、開かれた学校をめざす。
- ・「いじめ未然防止・対策委員会」, 「学校生活アンケート (月1回)」による指導の徹底